

平成 26 年度

県立図書館アクションプラン

1 運営方針

県民の生涯学習に対するニーズに広く応えるよう図書館機能の充実を図ります。

- ・ 調査研究のための図書館
資料・情報の提供、書誌の作成を行い、生涯学習のための図書へのアクセスの向上に努め、情報化に対応します。
- ・ 図書館のための図書館
市町村・学校の図書館を支援し、関係機関と連携し、市町村等の図書館を通じて県民の利用に応えます。
- ・ 保存のための図書館
一般図書、郷土資料・新聞・雑誌等を広く収集・整理し、永く利用されるよう保存し、貴重資料などを活用してふるさと教育に資するよう努めます。



2 特色

県立図書館は、県民の情報センターとして、県民の「読みたい、知りたい、調べたい」ニーズに応え、資料収集や情報提供に力を入れています。どこでも十分な図書館サービスが受けられるよう、相互貸借や横断検索などにより、市町村立図書館等をサポートしています。また、郷土関係資料を整備するなどの資料収集方針に基づき、蔵書資料の充実に努めています。

インターネット検索、相互貸借、レファレンスは全国比で高いが、利用者数、貸出冊数、蔵書冊数は、人口規模相応の水準です。全体の職員数は全国比で少なく限られた職員で効率的に運営していますが、司書数は比較的多く、レファレンス、県内図書館支援等のサービスが充実しています。

3 現状

平成 24 年度末現在、蔵書冊数 861,124 冊、このうち郷土資料は 143,502 冊、特設文庫 27,745 冊を所蔵する県立図書館です。

調査相談件数は 19,378 件、対前年度+2.9%で増加し、蔵書検索を含む利用者数は 728,663 人、-1.0%、貸出冊数は 200,036 冊、-6.4%、県内外図書館への貸出借受冊数は 23,391 冊、対前年度-4.3%減少しています。

4 重点目標

社会の変化に対応し、県立図書館の中長期的なあり方を検討し、県民の課題解決に寄与することを通じて地域文化の振興に貢献するとともに、学校教育を支援し、家庭教育の向上に寄与する図書館づくりを進めます。

3つの観点から図書館に係る重点事項に取り組みます。

- (1) 業務効率化と魅力向上
- (2) 地域情報発信と情報化
- (3) 学校教育への支援、関係機関等との連携とネットワークの構築

5 重点事項

(1) 業務効率化と魅力向上

- ・本県の自然、歴史、文化、産業等の理解が深まる資料を県内各機関から収集するなど、資料の充実を図ります。
- ・雑誌閲覧室を2階から1階へ移動、新聞閲覧室と一体化し利便性の向上を図ります。
- ・新しい図書館サービスを目指し、業務の効率化をはかり、図書館職員の資質を向上します。
- ・アクションプランを毎年見直し、県立図書館の中長期のあり方を図書館内で検討します。

(2) 地域情報発信と情報化

- ・地域研究・ふるさと教育での資料の活用を促すため、企画展示等を行います。立山黒部等、地域に関する文献のリスト及びパスファインダーを製作し、県民に提供します。
- ・広く県民に情報発信を行うためソーシャルネットワークサービスを通じた広報の充実を図ります。
- ・郷土資料等のデジタル化を検討するとともにレファレンスデータを蓄積します。

(3) 学校教育への支援、関係機関等との連携とネットワークの構築

- ・高志の国文学館で県立図書館所蔵図書を受取や返却ができるようにし、県民の利便性向上を図ります。
- ・県立高校などの図書館と連携し、高校生の図書館利用を促進します。
- ・大学図書館と連携し、図書館の持つ魅力を発信し、図書館の利用を促進します。
- ・県議会図書室と連携したレファレンス情報、資料の提供など行政支援サービスに努めます。
- ・雑誌スポンサー制度を導入し、経済分野等との連携を推進します。

6 参考指標

指標名及び指標の説明	19年度	24年度
利用者数 来館者及び*WebOPAC、電話・文書を含めた利用者数	487,252	728,663
貸出総冊数 個人・図書館への貸出、団体貸出を含めた冊数	209,228	204,165
レファレンス件数 調査相談の件数	18,974	19,378
横断検索件数 県内図書館蔵書横断検索システム利用件数	139,190	181,267
郷土資料アクセス件数 郷土資料情報データベースのアクセス件数	**4,371 (H22)	3,957
催事件数 企画展示・講演会・研修会等の開催回数	17	30

* インターネットによる蔵書検索

** 平成21年12月より運用開始

県民の生涯学習に対するニーズに広く応える 県立図書館

運営方針

- ・調査研究のための図書館 資料・情報の提供、書誌の作成を行い、生涯学習のための図書へのアクセスの向上に努め、情報化に対応します。
- ・図書館のための図書館 市町村・学校の図書館を支援し、関係機関と連携し、市町村等の図書館を通じて県民の利用に応えます。
- ・保存のための図書館 一般図書、郷土資料・新聞・雑誌等を広く収集・整理し、永く利用されるよう保存し、貴重資料などを活用してふるさと教育に資するよう努めます。

重点事項

- ・高志の国文学館
- ・県立高校図書館
- ・大学図書館
- ・県会図書館
- ・県内企業等(雑誌スポンサー制度)

- ・企画展示
- ・文献リスト、パスファインダー
- ・SNSの活用
- ・レファレンスの充実

- ・郷土資料の充実
- ・雑誌・新聞室の一体化
- ・図書館職員の資質向上
- ・中長期の図書館像検討

(3) 学校教育への支援、関係機関等との連携とネットワークの構築

(2) 地域情報発信と情報化

(1) 業務効率化と魅力向上

重点目標

富山県立図書館

参考指標

	19年度	24年度
利用者数(来館者及びWebOPAC、電話・文書を含めた利用者)	487,252	728,663
貸出総冊数(個人・図書館への貸出、団体貸出を含めた冊数)	209,228	204,165
レファレンス件数(調査依頼の件数)	18,974	19,378
横断検索件数(県内図書館蔵書横断検索システム利用件数)	139,190	181,267
郷土資料アクセス件数(郷土資料情報データベースのアクセス件数)	※ 4,371	3,957
催事件数(企画展示・講演会・研修会等の開催回数)	17	30

※：インターネット閲覧検索

※※：平成21年12月より運用開始